

平成 元年 3月15日

発行 青梅市文化財保護指導員連絡協議会

青梅市郷土資料室

(青梅市駒木町 1-684 Tel0428-23-6859)

青梅市内の滝

青梅市の面積は約 104 k m²です。市民の多くは東部の平地に住んでいるので、平地が広いようにも思えますが、市の面積の約 66%は山地や丘陵地になっています。これは、青梅市の位置が関東山地と関東平野にまたがって広がっているからでしょう。

青梅市のうち、日向和田の神代橋より西側は「秩父多摩国立公園」に指定されています。昭和 25 年 7 月 10 日に、全国で第 16 番目に指定されました。国立公園の多くには雄大な「火山」がありますが、秩父多摩国立公園は火山がない国立公園として知られています。火山がない代わりに、ここには、りっぱな滝が各地にかかっています。都内で、「滝」と言えば桧原村の払沢ノ滝や奥多摩町の百尋ノ滝などが有名ですが、市内にもりっぱな滝がいたるところにあります。ここでは、そのうちのいくつかを紹介します。

市内で最も見ごたえのある「滝」はどこか、と質問されたとなると、「七代ノ滝^{ななよ}」を挙げれば、まず間違いないでしょう。御岳のロックガーデンにあるこの滝は、すでに江戸時代には、江戸八百八町の人々に知られ、「御嶽菅笠」にも紹介されているほどです。この滝は大小 8 段の滝から構成されており、全体は約 50m の高さです。

七代ノ滝の上流、歩いて約 20 分のところには琴平ノ滝があります。約 10m の高さの滝で、滝ツボの深さは約 1,2m です。この滝の近くには、小説・大菩薩峠に出てくるお浜ノ桂があります。新緑の頃に訪れると、別世界に行ったような気持ちになり、気持ちもなごみことでしょう。

平溝川の上流、高源寺から高水山へ登る途中には、清浄ノ滝と呼ばれる滝があります。滝の長さはわずか 2 m 程度ですが、高水山の登り口にあることや、登山道の最後の水場であることなどから、広く知られている滝です。

成木川は青梅市内の北部を東西に流れています。成木川上流にもたくさんの滝がありますが、そのうち特にりっぱなのは大滝（高さ約 6 m）・障子ヶ滝（高さ約 4 m）・升ヶ滝（高さ約 20m）・五段ノ滝（高さ約 9 m）です。いずれも交通不便なところがありますが、見頃としては初春が最も良いと思います。

市内にある多くの滝のうち、交通が最も便利なところにあるのは、清竜ノ滝でしょう。J R 石神前駅の近くのブリジストンタイヤ奥多摩寮の敷地内にあるこの滝は、高さ約 20m あるりっぱな滝で、いつおとずれても気持ちが洗われるようです。

(文責 角田清美)